

8/26 木曜

マイナ総点検自治体400 \$ 500

は▽医療対象となる方▽抽出された情報の氏名、生年月日、住所

性別の突合が一致しないデータの特定(9月下旬～10月上旬)▽「一致しないデータのマイナンバーの本人確認(～11月末)」の3段階で行います。河野氏月1回程度実施状況

は「スケジュールありきではなく、丁寧な手続きが大事だ。実際のスケジュールは個別機関の状況、事情に配慮していく」と述べ、

全体の
2割超

施します。

個別データの総点検

使えないマイナ保険証77万件

システム機構(～1～S)を通じたマイナンバーの照会で、氏名、住所、性別、生年月日の4

マイナンバーカードを健保証として利用登録しても、マイナンバーと医療保険の資格情報をひもづけられないケースが約77万件ある問題について、河野太郎デジタル相は2500～3000程度に及ぶことを明らかにしました。このうち個別データの量が多い項目は障害者手帳のひも付けで、全都道府県に加え、政令市、中核市など、障害者手帳の事務を移譲している市が実

い」と強調。これまで判明したひもづけの誤りなど同様に、悪いのは作業が遅れた保険者とマイナンバーを提出しない利用者だと言わんばかりひもづけされていないけれども、医療機関などで資格確認を行うことができません。保険者に対するマイナンバーの提出は義務づけられており、保険者はマイナンバーを提出していない被保険者や、勤務する事業所を提出をお願いするしかありません。地方公共団体情報シ

セスなどと題つて、何人か。

「マイナ保険証」を持った放言です。

これらは来年秋以降も

けられなければ、国民の命を守る行政サービスとして致命的な欠陥です。それにもかかわらず、従来の保険証が存続すれば簡単に解決します。それにもかかわらず、保険証の廃止に固執して、「資格確認書」とは違う新たな文書をまたもや増やすつもりでしょうか。(森糸信)

河野太郎デジタル相は2500のデータで、マイナンバーのひもづけ誤りがある恐れのある個別データの総点検を行なう結果が、全自治体が、全自治体の2割以上となる400～500の程度に及ぶことを明らかにしました。「ひもづけの誤りを防ぐプロセスのなか」ということだ」と述べ、現行保険証の廃止とマイナンバーカードと保険証の一本化に固執する政府の姿勢を正当化しました。

河野太郎デジタル相「普通のプロセス」

河野太郎デジタル相は2500のデータで、マイナンバーのひもづけ誤りがある恐れのある個別データの総点検を行なう結果が、全自治体が、全自治体の2割以上となる400～500の程度に及ぶことを明らかにしました。「ひもづけの誤りを防ぐプロセスのなか」ということだ」と述べ、現行保険証の廃止とマイナンバーカードと保険証の一本化に固執する政府の姿勢を正当化しました。

河野太郎デジタル相は2500のデータで、マイナンバーのひもづけ誤りがある恐れのある個別データの総点検を行なう結果が、全自治体が、全自治体の2割以上となる400～500の程度に及ぶことを明らかにしました。「ひもづけの誤りを防ぐプロセスのなか」ということだ」と述べ、現行保険証の廃止とマイナンバーカードと保険証の一本化に固執する政府の姿勢を正当化しました。

河野太郎デジタル相は2500のデータで、マイナンバーのひもづけ誤りがある恐れのある個別データの総点検を行なう結果が、全自治体が、全自治体の2割以上となる400～500の程度に及ぶことを明らかにしました。「ひもづけの誤りを防ぐプロセスのなか」ということだ」と述べ、現行保険証の廃止とマイナンバーカードと保険証の一本化に固執する政府の姿勢を正当化しました。

河野太郎デジタル相は2500のデータで、マイナンバーのひもづけ誤りがある恐れのある個別データの総点検を行なう結果が、全自治体が、全自治体の2割以上となる400～500の程度に及ぶことを明らかにしました。「ひもづけの誤りを防ぐプロセスのなか」ということだ」と述べ、現行保険証の廃止とマイナンバーカードと保険証の一本化に固執する政府の姿勢を正当化しました。